

第13章 バプテスマ

この章のテーマ

1. バプテスマは、主に従う弟子となること、そして同時に、教会という家族の一員となることです。
2. 一員になることは責任も伴いますが、一員にならなければ受けることのない生きがいと喜びがあります。
3. あなたは今後どのように歩んでゆきたいか、考える機会にしてください。

■バプテスマの意味 古い私の死→新しい私の誕生

あなたはお祈りを通して、イエス様を心に迎えられましたか？（5-9を参照）

バプテスマは、そのことを目に見える形で行う信仰の応答です。

まず水に沈められますが、それは古い罪の自分はイエス様と共に十字架に架けられて死んだということを意味としています。

次に水から起きあがりますが、それはイエス様によって新しくされた私は復活されたイエス様と共に永遠の命を生きてゆきますということを意味しています。



■バプテスマは、イエス様に従うことの初めの一歩です。

バプテスマは、「私は神の家族に加わり、教会員として、みなさんと共に成長してゆきます」という祈りと決心を神さまと人々の前に表明することです。

そして、バプテスマを受けることは教会のメンバーになることです。

新聖書辞典には、以下のように記されています。 //

バプテスマ: イエス・キリストを信じた者が、キリストのからだである教会に加わるために、キリストに対する信仰を見える形で公に表明するために行う儀式。この意味では、信仰者が個々の教会に所属するようになるための、加入の前提条件とも言うべき性格を持つものである。これは、もう一つの礼典である主の晩餐式と共に、世の終わりまで教会が守り行うようにと主が定められた礼典である。

バプテスマが教会への加入の儀式として定着するに至った理由はいくつか考えられるが、まずイ

エス自身が、昇天される前に弟子たちに命じられたことである（マタ28：18-20、マコ16：15-16）。

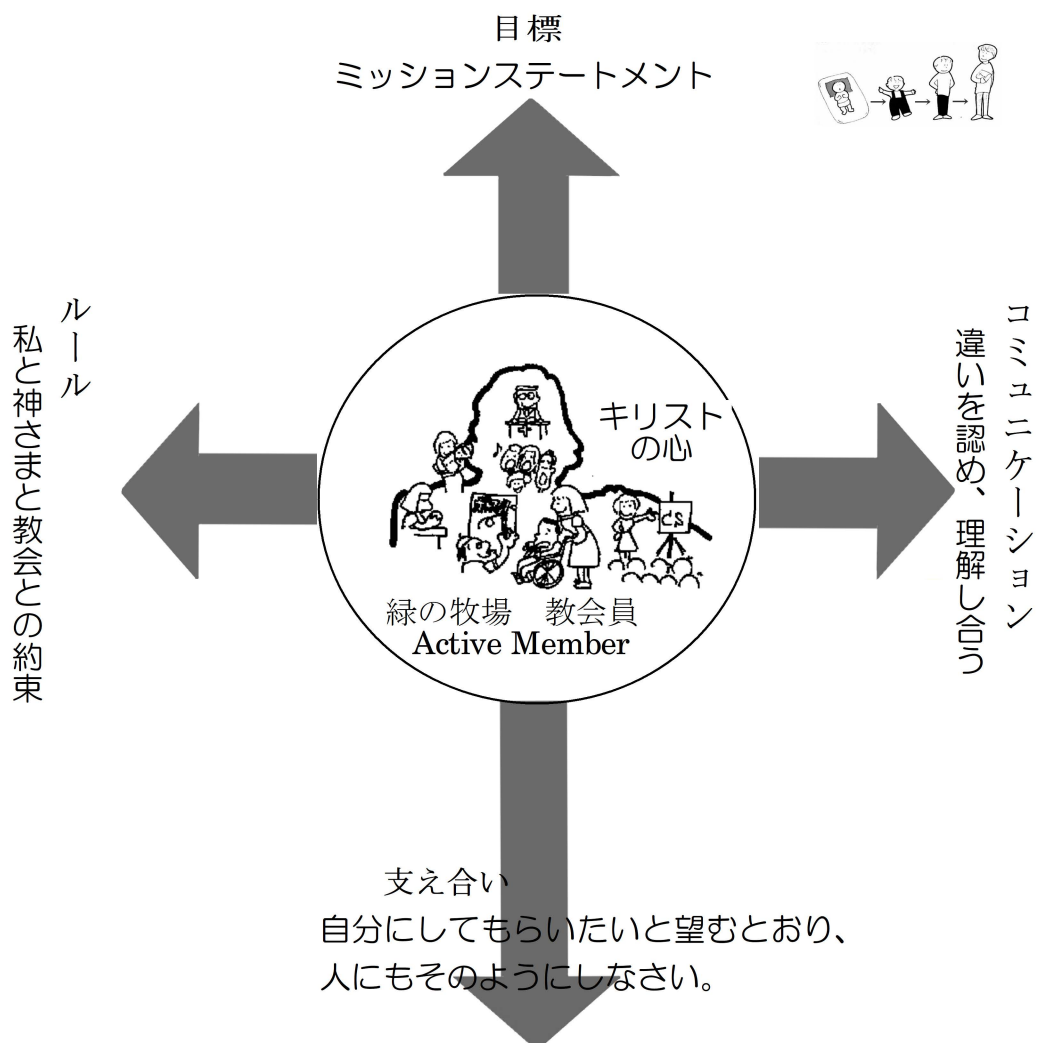
さらにイエス自身がヨハネからバプテスマを受けることによってイエスに従う者のために模範を残された（マタ3：15）。



またイエスの教えと模範に従って、バプテスマは初代教会において忠実に受け継がれ守られてきたこと（使徒2：41）などをあげることができよう。// ここまで引用。

バプテスマを受けることは、キリストのお体である教会の活きたメンバーになることです。教会は…神様の愛に応えて、キリストのお体を形成する一員になりたいと願うメンバーによって構成されています。ですから、バプテスマを受けて教会員となることは、「私は、神様の愛に
応えて、キリストのお体を形成する神の家族の一員になりたい」と自ら願いそのような生き方を決心して選び取ることなのです。

教会は教会員のチームが「福音」という全ての人の人生に関わる最も大切な運動をしてゆきます。チームワークに必要なのは、一つの心（キリストの心と意思）・そして共通の目標・コミュニケーション・ルール・支え合いです。



■バプテスマを受けるためには…

以下の4つが必要です。チェックしてください。

- 教会の信仰告白（この冊子マイルーツの内容）に同意されること。
- 次ページの「教会のルール」を神さまと教会に対して、約束すると決意されること。注意深く読み考えて、バプテスマを受けられるかどうかを決断してください。
- あなたの信仰の告白をされること。
礼拝の中で、信仰の告白をいたします。皆様の書かれたものを参考にされて良いと思います。信仰告白文の中に必ず含まなければならない内容として以下の二つのことがあります。
 1. 自分にとってイエス様とはどういうお方であるか？
 2. 教会のメンバーに加わりたいという意志の表明
- 教会員の承認

礼拝の中で、教会員の承認をいただきます。

■私たちの願い…自律したイエス様の弟子となりましょう。

私たちは弱い時があります（マタイ11：28）。
その時には、主からの慰めが与えられることを祈り合います。
でも元気になったら（ルカ22：32）、
受けるのではなく与えることを求めましょう。
仕えられるのではなく、仕えることの喜びに生きましょう。
愛されることよりも、愛することを学びましょう。
自律したイエス様の弟子（自分の使命と持ち場をわきまえて共に主に仕える者になってゆきましょう。

